


ボランティア通信 2026. 1 Vol. 263

なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail katano.vltr94@g mail.com
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com



ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターに
お問い合わせください
(Tel 072-894-3737)
(Fax 072-891-3340)

あけましておめでとうございます
昨年は四季がなく「二季」ともいえるような気候でしたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今年はどうなるのでしょうか。
ところで、昨年12月、約2年をかけて検討を重ねてきた「ボランティアのためのアクションプラン」が完成しました。(※アクションプランとは、私たちがこれから目指すべき活動の方向をまとめた「行動計画」です)
今年の4月から、私たち連絡会と各グループはこのアクションプランに基づいてボランティア活動を推進してまいります。各グループの日々の活動内容が、昨年までと大きく変わるわけではありません。
連絡会活動の方向性を示すアクションプランという新しい「道しるべ」を持つことで、活動に対する意識や視点も大きく広がるはずです。私たち自身も、このプランを意識しながら、新鮮な気持ちで新しい活動に挑戦していけたらと考えています。

新年度から「なかま」の配付体制

戸別配付からグループ配付へ

- 長い間、「なかま」ステーション、配付を担当して下さった皆様ありがとうございました。2026年4月(通巻264号)より、次のように配付いたします。
- 交野市ボランティアグループ連絡会所属の10グループの人は、グループ内での配付とします。
 - 個人登録の人、ボランティアグループ連絡会に入っていない団体・グループの人は、ゆうゆうセンター、ボランティアセンターに設置されているポストから「なかま」を受け取ってください。
 - 市役所・市議会・教育委員会・学校・諸施設には従来通りの配付とします。ただし、配付体制に困難が生じた時は、新たな配付者の募集、または郵送も検討します。
 - フレンドマート交野店など、新たな設置場所を検討します。
- いろいろご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

◎連絡会の基礎データ
連絡会の特徴
連絡会の概要
連絡会の取り組み
連絡会所属グループの概要

【アクションプランの概要】

ボランティア活動を通じて、この一年が楽しくワクワクしたものであることを期待します。

会長 馬場 巡

新年のあいさつ アクションプランへの挑戦

- ◎ボランティアの声
ボランティアの現状
ボランティアの強み
できたらいいなこと
できそうなこと
- ◎私たちのアクション
連絡会の目標
連絡会の重点取り組み
基本目標1 自分らしい暮らしを支える仕組みをつくる
基本目標2 地域のつながりをつくる
基本目標3 地域福祉の担い手をつくる
基本目標4 安全・安心な地域をつくる

登録ボランティアのみなさまへ

ボランティア登録継続意思確認のご案内

ボランティアグループに

所属している人は

グループリーダーへ活動の継続・休会・退会のいずれかを連絡してください。確認後、必要がある人にはセンター事務所から問い合わせをする場合があります。登録内容に変更がある場合は、センター事務所に申請書を提出してください。

個人で登録した

ボランティアの人は

センター事務所から、活動確認を行いますので、2月13日(金)までに返送をお願いします。
今年度は「なかま」の配付活動をしている人にも活動確認を行いますので、同様に事務所まで返送をお願いします。

社会福祉ボランティア知事表彰

梶 記代美さんが受賞

おめでとうございます



令和7年度の大府府社会福祉ボランティア知事表彰・個人の部で、梶 記代美さん(要約筆記「星の会」・手話「さつき」)が受賞されました。
長きにわたり、社会福祉活動にご尽力いただきありがとうございます。

2026年点字カレンダーを進呈

点訳「虹の会」が視覚障がい者用点字カレンダー、2026年(午年)版を3種類(壁掛け用・卓上型・携帯用)作成しました。
希望者に無料で進呈します。
ボランティアセンターまでお問い合わせください。

Tel 072-894-3737
Fax 072-891-3340

ボランティア活動保険
ボランティアセンターへの依頼に対し、ボランティア活動をする確認された時点で保険加入の手続きを行います。活動を始められる際はセンター事務所までご連絡ください。
また、活動していただくにあたって、センター事務所へ依頼書と活動報告を提出していただく必要があります。
詳細はセンター事務所へお問い合わせください。



▼今年は60周期の干支の中で43番目に位置する「丙午(ひのえうま)」にあたる。古くは「丙午生まれの女性には強すぎる気性がある」とされ、様々な迷信が江戸時代から語り継がれてきた。とりわけ「丙午の女は気が強く、夫の命を縮める」という言い伝えがあり、出生率は極めて低かった▼現在、このような言い伝えを信じる人は少ない。元来、「丙」は十干の三番目で陽の火をつかさどる。強いエネルギーと個性を持ち、自分らしく突き進むとか。「午」は十二支の七番目で行動力があり、社交的で前向きな性格だ▼これらのことから令和8年は「強い火の気を帯びた年」とされ、情熱や変化がテーマになる「一年」とも言われるが、果たしてどのような年になるのか楽しみでもある。個人にとってはやはり穏やかで心安らぐ日々を願いたいものだ。

なかま次号発行予定
令和8年4月6日(月)

第34回健康福祉フェスティバル

風雨の中スタッフが奮闘!!

11月9日、前日とは打って変わった悪天候、冷たい雨、強い風の中、ゆうゆうセンター屋外のふれあい広場では、イベント続行が難しいとの判断がくだされ開場時間が短縮になりました。一方、屋内のイベントは予定通り進行されました。

ふれあい広場

連絡会から「バザー・植木市」のブース並びに「糸ぐるま」の3ブースを出展しましたが、土砂降りになったり、強風でテントが動くなど、その対応にスタッフは大わらわ、これまでにない経験でした。

そんな中でも、バザー・植木市でお買い物いただきましたみなさま、



開会前の準備に追われるスタッフ
手前は「植木市」、奥は「バザー」

屋内のイベント

品物をご提供いただきましたみなさまに厚く御礼申し上げます。
ブース全体の収益金(例年に比べ減額)は、ボランティアグループ連絡会の活動費に充当させていただきました。

ゆうゆうセンター3階では、連絡会所属10グループの活動紹介パネルの展示のほか、朗読「あい」・点訳「虹の会」のボランティア体験コーナーが開かれました。

録音してみませんか

朗読「あい」

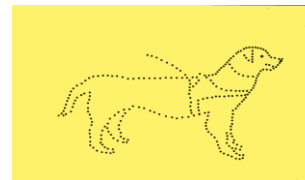
「あい」のコーナーでは、初めて録音体験の企画をしました。幅広い年齢層の方が次々と来室。絵本を読ん

で自分の声を聞いてニコニコ顔の子どもや、パソコン録音に興味津々で説明を聞く高齢の方など、それぞれに楽しさを体験されたようです。また、よく響くいい声の方や、感情たっぷりに朗読を聞かせてくれる方にも出会い、私たちもいい勉強になりました。

点字に触れてみよう

点訳「虹の会」

点字体験には子どもさんから年配者まで幅広い参加で賑わいました。まずは点字に触れてみよう、と、点字版「広報かたの」、点字カレンダーや作画(盲導犬やバラの花)に指で触ってもらった後、点字入力を体験してもらいました。「点字って覚えるのが大変だ」「点字で数字やアルファベット、『絵』も書けるって面白い」など、いろんな意見に触れて、私たちの日常活動の一端を発信できて大変嬉しかったです。



大阪・関西万博ボランティア情報等発信イベントに参加

11月15日、西梅田にある毎日新聞ビル・オーバルホールで、今回の万博で活躍された万博会場ボランティアと大阪まちボランティアの方たち250名が集うイベントに参加しました。

第1部では今回の万博で尽力されたボランティア方々の表彰式が行われました。

第2部は府下18のボランティア団体の活動内容などの紹介と相談に乗るというもので、大阪府ボラ連の一員として会長職3名と府社協事務局2名でボランティアの紹介・相談に携わり、ボランティア団体の活動状況等の情報発信に努めました。立ち寄っていただいたボランティアの皆さんからの情報発信もあり、ボランティア活動の広がりを実感できたひと時でした。(馬場巡)

市民交流フェスタ7年ぶりに開催

12月13日、第23回市民交流フェスタ(ゆうゆうセンター多目的ホール)に約130人が集いました。ボランティアグループの情報発信と市民を繋ぐこのイベントに、山本市長から「新たな連携や市民が地域活動に関心を持つきっかけに」、前波社協会長から「支えあいの輪が大きく強く成長することを期待する」とのご挨拶を戴きました。



山本市長挨拶

プログラム

山本市長・前波社協会長挨拶
和太鼓演奏「ででんこ交野」
ボランティア体験・紹介・相談コーナー
唄って踊ろう「手のひらを太陽に」
じゃんけん大会



前波社協会長挨拶



玉手箱・おもちゃ作り



「ででんこ交野」:和太鼓演奏



陽だまり:活動紹介



唄って踊ろう:手のひらを太陽に

キッズハロウィンに「さつき」が参加

手話歌「世界が一つになるまで」を熱唱

10月25日、キッズハロウィンがいっききランド交野で開催され、昨年引き続き手話歌で参加しました。

今年は「世界が一つになるまで」

の曲へのチャレンジ、普段の活動とは違い、広いステージで歌うので大変なプレッシャーでした。手話で話せる楽しさをひとりでも多くの人に届け

たい。手話に興味を持っていただけきっかけにしたい。そんな思いで練習を重ねてきました。

当日は子どもたちが、私たちの動きを見ながら、一生懸命手指を動かして、手話表現をしてくれました。ほっこり可愛い姿に、これからの活動への大きな励みとなりました。

河北ブロック交流会・守口市で開催

田川雅規氏の講演に会場は笑いの渦

11月13日、守口市社会福祉協議会会議室において河北ブロック交流会が開催され、役員4名で参加しました。

第1部は参加者6~7名ずつ5グループに分かれて、自己紹介やグループ活動紹介などフリートークを通して他市のボランティアとの交流ができました。

第2部は、割烹着姿で講演をされるコミュニケーションデザイナー あそびの工房『もくもく屋』田川雅規さんによる「べらぼうに光る君へ〜みやくみやくと繋がるご縁〜」とタイトルも内容もユニークで楽しい講演があり、会場は笑いに包まれるなか、参加者全員がそれぞれ新しい仲間ができ多に盛り上がりました。



令和8年度の交流会担当幹事は交野市です。河北ブロックのボランティアの仲間が更に繋がっていけるような交流会の企画を考えていきたいと思っています。